

第 7 回災害支援訓練

実施報告書

広域一般廃棄物事業協同組合

第7回災害支援訓練実施報告書

広域一般廃棄物事業協同組合

日 時：平成26年10月18日（土）9：00～12：00

場 所：①集合場所…小田原市諏訪原（トレープラスチック減容施設横）

②派遣場所…片浦小学校、久野小学校、大窪小学校、早川小学校、三の丸小学校、町田小学校、山王小学校、新玉小学校、桜井小学校、報徳小学校、東富水小学校、芦子小学校、足柄小学校、富水小学校の14箇所

参加者：小田原市環境部3名、広域一般廃棄物事業協同組合31名

趣 旨：災害時における一般廃棄物災害収集に関する協定を締結している中で、災害が発生した際にスムーズな対応ができるかどうかを確認し、かつ、災害応急対策に対する相互理解を深める。

内 容：平成26年10月16日（木）15時に発生した地震（震度7）の影響により、小田原市が被災し、市内の避難所設置による仮設トイレの汲取りと臨時ステーションのごみ収集、震災ごみ増加・道路事情悪化により家庭ごみの収集・運搬に支障をきたしているという想定のもと、災害応急対策を行う。

訓練概要：緊急連絡網による連絡訓練、応援要請から参集訓練、避難所への派遣訓練までを行う。

派遣訓練では、小田原市の広域避難所の運営は自治組織に任される為、避難所の担当者と連携をとる訓練を行う。また迅速な作業遂行のため、早期に啓開される見込みである緊急輸送道路を確認し実際に走行する訓練を行う。

主な使用機材：（予定）

- ①バキューム車 7台
- ②パッカー車 6台
- ③パワーゲート 1台
- ④軽ダンプ 1台
- ⑤仮設トイレ 10基
- ⑥仮設テント（3m×3m）1張
- ⑦車両看板 15枚
- ⑧机 1台
- ⑨パイプ椅子 3脚
- ⑩ヘルメット（各自）
- ⑪ブルゾン（責任者のみ） 5着
- ⑫交通誘導灯 2個
- ⑬音響設備（ポータブルワイヤレスマイク1機、拡声器1機）
- ⑭白板 1枚
- ⑮非常食セット 30個
- ⑯腕章 3個
- ⑰地図（道路地図、防災用図）

備 考：

タイムテーブル

10月16日（木）

- 15：00 小田原市に震度7の地震発生。緊急連絡網による組合員の安否確認。
- 15：20 小田原市環境部からの応援要請に基づき、組合員へ応援要請。

10月18日（土）

- 9：00 全派遣班、集合場所に到着（小田原市諏訪原 トレープラスチック減容施設横）
司会進行 勝俣統括（理事）
開会挨拶 勝俣統括
参加者紹介
訓練行程説明
小田原市から応援要請の内容説明
・市内14箇所の広域避難所の設置とそれに伴う仮設トイレ汲取り、ごみ収集
班編成（2班体制とする。第1班を小池班長、第2班を齋藤班長が担当）
責任者会議（勝俣統括、小池班長、齋藤班長、小田原衛生担当者）
班別ミーティング
・市内状況説明
・運行計画作成、作業指示
- 9：30 勝俣統括より出動命令
- 10：00 作業チーム（主にバキューム、塵芥車の組）ごとに広域避難所へ移動。
- ～11：00 広域避難所の担当者に到着報告。指示を受ける。
作業に必要な情報を収集し、災害支援活動報告書を作成。
- 11：30 訓練終了式
講評 鈴木理事長
関係機関挨拶 小田原市環境部 和田部長
- 12：00 訓練場所清掃、後片付け
解散

現地案内図

小田原市諏訪原地内



現地災害対策本部

訓練状況

開会



環境部から作業指示



第1班別ミーティング



訓練状況

第2 班別ミーティング



片浦小学校



久野小学校



訓練状況

大窪小学校



早川小学校



三の丸小学校



訓練状況

町田小学校



山王小学校



新玉小学校



訓練状況

桜井小学校



報徳小学校



東富水小学校



訓練状況

芦子小学校



足柄小学校



富水小学校



会場全景



理事長による講評



環境部長より挨拶



タウンニュース 平成 26 年 11 月 8 日号



パッカー車らが校庭に集結

小田原市の総合防災訓練にあわせて10月18日、広域一般廃棄物事業協同組合（鈴木茂理事長）が派遣訓練を行った。

全校進入路確認が完了 廃棄物事業協同組合が訓練

訓練は、2日前の地震の影響で市内避難所の仮設トイレ汲み取りとゴミ収集・運搬業務に支障をきたしているという想定のもとで行われ、応援要請を受けた市内外の収集業者が集合。パッカー車7台、パッカー車6台が酒匂川西側14カ所の広域避難所に派遣され、道路状況や進入経路、汲み取り・収集の流れを確かめた。

今回の訓練で市内全25の小学校への経路や避難所への進入口の確認が完了した。鈴木理事長は「派遣訓練や受伝達訓練の充実を図りつつ、具体的な仮設トイレ・臨時ごみ収集所の設置場所を市と協力して検討していきたい」と話した。

ポスト広告 平成 26 年 11 月 14 日号



小田原市内の避難所の衛生環境を守るための防災訓練が実施された



もしも地震で水道が止まっても、避難所を清潔に保つために…小田原市と広域一般廃棄物事業協同組合（鈴木茂理事長）による防災訓練が10月18日に実施された。市内の14の小学校への進入経路の確認と、備蓄されている仮設トイレの汲み取り実験が行われた。平成23年からはじまり、今回で7回目の開催。今回で市内の小学校全てで実施されたことになる。「今後は、派遣や受伝達の訓練の充実を図りつつ、仮設トイレや臨時ごみステーションの設置場所を市と協力して検討していきたい」と鈴木理事長。

